

<p>令和2年(2020年)3月27日 環境部 自然保護課 自然公園係 今井 達哉(課長) 宮坂 正之(担当) 電話:026-235-7180(直通) 026-232-0111(代表)内線2773 FAX:026-235-7498 E-mail:shizenhogo@pref.nagano.lg.jp</p>	<p>令和2年(2020年)3月27日 危機管理部 危機管理防災課 柳沢 秀信(課長) 洪沢 陽一(担当) 電話:026-235-7408(直通) 026-232-0111(代表)内線5218 FAX:026-233-4332 E-mail:bosai@pref.nagano.lg.jp</p>	<p>令和2年(2020年)3月27日 企画振興部 地域振興課 山田 明子(課長) 新津 俊二(担当) 電話:026-235-7023(直通) 026-232-0111(代表)内線3782 FAX:026-232-2557 E-mail:shinko@pref.nagano.lg.jp</p>
<p>令和2年(2020年)3月27日 観光部 山岳高原観光課 山岳高原観光係 塩原 一正(課長) 大日方 千恵子(担当) 電話:026-235-7251(直通) 026-232-0111(代表)内線3516 FAX:026-232-7257 E-mail:mt-tourism@pref.nagano.lg.jp</p>	<p>令和2年(2020年)3月27日 建設部 施設課 施設第一係 塩入 一臣(課長) 佐々木 武信(担当) 電話:026-235-7342(直通) 026-232-0111(代表)内線3666 FAX:026-235-7477 E-mail:shisetsu@pref.nagano.lg.jp</p>	

## 御岳県立公園御嶽山ビジターセンター（仮称）整備基本計画（案）について

### 1 目的・整備方針

御岳県立公園御嶽山ビジターセンター（仮称）は、「いのちを守る」「火山を学ぶ」「自然とふれあう」を主な目的とし、自然公園の「玄関口」として人と自然をつなぐ拠点を目指す。

- 「いのちを守る」**
- ・御嶽山の今（火山活動, 規制情報, 気象情報, 自然情報等）を利用者に提供
  - ・噴火の危険性と適切な避難行動を周知、火山防災知識の普及啓発
  - ・公園利用者・登山者の休憩所、荒天・災害時の緊急的な避難場所
- 「火山を学ぶ」**
- ・火山の恵みと災い両面を持つ火山の魅力を知り、理解を深める
  - ・火山成立の歴史、過去の災害記録と記憶をつなぎ、未来を考える
  - ・御嶽山火山マイスター等の活動を通じて、学びの機会を提供する
- 「自然とふれあう」**
- ・御岳県立公園の「玄関口」として人と自然をつなぐ
  - ・御嶽山の自然や文化を知り、自然体験を通じて、深い感動へと導く
  - ・御嶽山は古来山岳信仰の山、自らと向き合える落ち着いた場（空間）を提供

- (1) 環境、景観、防災に配慮した施設を目指す（RE100の推進など）
- (2) 自然公園の玄関口として「訪れたいくなる」施設を目指す
- (3) 御嶽山が育んだ文化と歴史、豊かな自然を活かした様々な学びと体験促進に寄与する施設を目指す

### 2 建設予定地

御岳県立公園の核心地域である御嶽山への登山道王滝口周辺、木曾郡王滝村田の原とする。

### 3 施設の概要

- |            |                    |                       |
|------------|--------------------|-----------------------|
| (1) 機能、規模等 | 展示スペース             | 200 m <sup>2</sup> 程度 |
|            | 休憩、飲食スペース          | 100 m <sup>2</sup> 程度 |
|            | トイレ（男、女、多目的）       | 125 m <sup>2</sup> 程度 |
|            | 事務室（御嶽山火山マイスター等詰所） | 50 m <sup>2</sup> 程度  |
|            | その他（倉庫、設備等）        | 25 m <sup>2</sup> 程度  |
|            | 合計延床面積             | 500 m <sup>2</sup> 程度 |
- (2) 建設費 3億5千万円程度 ※展示スペース及び外構（周辺駐車場）の再整備含む
- (3) 整備手法
- ・地元自治体・関係機関等と協議・調整を行いながら進める。
  - ・利用者視点を反映できるよう、関係者・専門家の意見をいただきながら進める。
  - ・プロポーザルにより設計業者を選定するなど、民間の技術的能力を活用するよう努める。

### 4 スケジュール 令和4年度の供用開始を目指す。

### 5 運営方針

- ・多様な主体と連携した管理運営体制を構築し、指定管理者制度を導入するなど民間の力を積極的に活用した効率的・効果的な管理運営に努める。
- ・開館期間は開山期間の6月～10月を基本とし、利用最盛期には開館時間を早めるなど利用者目線に立った運営に努める。閉館期間中の施設の部分的な利用等も検討し、施設の有効活用に努める。
- ・隣接する王滝村が運営する田の原観光センター等の周辺施設と役割分担を明確にし補完しあいながら、将来に向かって周辺の利便性向上に努める。
- ・関連施設、類似施設と連携し、既存の財産（展示）を活用した相互企画展、巡回展などに努める。